



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

健康寿命を延ばすための「口腔機能低下症」予防・管理

高齢者歯科 科長 佐藤 裕二

超高齢社会のトップランナーであるわが国ではメタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームと同じように、歯科では「オーラルフレイル(口腔の虚弱)」が問題視されています。これは、「滑舌低下」、「食べこぼし」、「わずかなむせ」、「かめない食品が増える」、「口が乾く」など、加齢に伴いお口の機能が低下した状態です。放置しておくと、全身のフレイル(虚弱)に陥りやすく、要介護へと突き進んでしまいます。

そこで、この状態をきちんと検査して、うまく治療や管理をすることが重要です。オーラルフレイルの状態をきちんと把握するために、この4月からオーラルフレイルの正式な診断名である「口腔機能低下症」の検査が健康保険に導入されました。65歳以上の方やご病気のために運動障害がある方などで、お口の機能が少し下がってきた方が対象です。検査には以下の7つがあります(全てを行うわけではありません)。

1. 口腔衛生状態不良: 舌の表面の汚れ具合を点数にします。
2. 口腔乾燥: 口の中の乾き具合を簡単な機械で計測します。
3. 咬合力: 歯の数や、咬む力の測定を行います。
4. 舌口唇運動: 滑舌について「パ」「タ」「カ」の音を続けて発音します。
5. 舌圧: 口の中に小さな風船を入れて、舌で食物を押しつぶす力を計測します。
6. 咀嚼能力: 食品を咀嚼(そしゃく)する能力を専用のグミゼリーで計測します。
7. 飲み込む能力: 専用の簡単な質問紙で、飲み込む能力を評価します。

これらの検査結果を総合して、「口腔機能低下症」の診断を行います。検査費用は1,000円以

内です。

口腔機能低下症と診断された場合は、個々の方の状況に応じて、歯科治療(う蝕、歯周病、入れ歯など)、口腔清掃指導、入れ歯の手入れの指導、お口のトレーニングの指導などを行い、半年に一回ぐらいチェックを行います。



現在、この検査を導入している歯科医院はまだ多くありません。当院では、高齢者歯科外来(3階西診療室)、口腔リハビリテーション科外来(3階東診療室)で検査を行っています。30分ぐらい必要なので、時間のかかる歯科治療の合間に行うわけには行きませんが、興味がある方は担当医にご相談下さい。当院には口腔機能低下症に詳しい認定医・専門医・指導医(日本老年歯科医学会)が揃っています。なお、高齢者歯科診療科長の佐藤裕二は、口腔機能低下症の啓発に主体的役割を担ってきた日本老年歯科医学会(会員数3,700名)の理事長でもあります。

また、この4月から、小児のお口の機能が十分に発達していなかったり、機能獲得不足であったりする場合には「口腔機能発達不全症」と診断され、健康保険で治療・管理ができることとなりました。「咬む・飲み込む・話す」が上手くできなかったり、口呼吸などがあつたりする小児が対象です。お子様に気になる症状がございましたら是非小児歯科もしくは口腔リハビリテーション科に、ご相談下さい。

高齢者歯科 紹介

高齢者歯科 診療科長補佐 七田 俊晴

私ども高齢者歯科では、年齢が70歳以上の患者さんと65歳以上で基礎疾患があり、お体の状態を観察しながら治療を行わなければならない患者さんや、医科の先生との連携が必要な患者さんの診療を行っています。

いわゆるご高齢の患者さんの一般歯科診療を行う診療科だにご理解いただいてよいかと思います。認知症や歯科恐怖症などのため精神鎮静法の併用が必要な方は、歯科麻酔科、顎顔面口腔外科を初めとする各診療科のご支援をいただき、治療を展開いたします。しかしながら、ご高齢な方々の歯科的問題点の多くは入れ歯やかぶせ物に起因するため、その分野(補綴治療といいます)で特に豊富なノウハウがあり、得意としています。

主任教授の佐藤裕二以下12名の医局員と6名の大学院生の総勢19名で外来診療にあたっていますが、昭和大学口蓋裂診療班(SCPT)や顎変形症・口蓋裂のチームアプローチ(MFC)、障がい者歯科における専門的補綴処置、インプラント治療、医学部関連病院における昭和大学口腔ケアセンターや、老人福祉施設への訪問歯科診療なども担当しています。それゆえ、日本老年歯科医学会、日本補綴歯科学会、日本口腔インプラント学会の指導医・専門医を中心としたチーム診療体制を構築し、患者さんに充実した高度先進医療を提供できるよう努めています。

外来設備は、治療中の血圧や血中酸素濃度をリアルタイムに監視できる生体情報モニターや、心が落ち着く笑気吸入鎮静器、訪問歯科診療に対応できるポータブル歯科用ユニットなどを揃えています。また、脳梗塞や心筋梗塞発作の予防のために抗血液凝固薬(ワルファリンカリウム)を服用されている方には、抜歯などでの止血に問題がないか確認できる検査キットが完備されています。骨粗鬆症の予防のためのBP製剤(ビスフォスフォネート製剤)の長期投与に起因する抜歯時の顎骨壊死な

どが報告されています。その様な患者さんへの対応もさせていただいています。

近年の長寿社会では、実際に口腔内に多くの歯が残っており、8020(80歳で20本以上、歯が残っている)を達成されている方は、50%を超えています。この残っている歯を上手に守っていくことの手助けをしたいと当科の医局員は考えています。

歯科の二大疾患である虫歯や歯周病に加え、お口の乾燥に起因する違和感・義歯の不調など、かつては稀であった症状で困っていらっしゃる方が増えています。これらは、食べる、話すといった生活の基本部分の質を大きく低下させますが、完治が困難なため「CURE(治療)よりもCARE(ケア)」するアプローチが重要です。お口の乾燥状態を検査する機器を導入し、必要あれば唾液の分泌を助けるマッサージ法のご指導や保湿ジェルなどもお勧めしています。また、お口の臭いや違和感の原因となるカンジダ菌の検査や、舌の清掃用具のご紹介、脳梗塞の後遺症などで手のご不自由な方に、扱いやすい歯ブラシの導入といったような、日常をより快適にするケアも行っています。超高齢社会を迎えた日本において、健やかに日々をお過ごしいただけるよう微力ながらお手伝いをいたしたく、医局員一同、日々診療に取り組んでいます。



高齢者歯科スタッフ

歯周病は、細菌の塊(プラーク)によるお口の中の感染症です。プラークによって歯の周りに炎症が起き、歯を支える土台(歯周組織)が徐々に破壊されます。放っておくと歯ぐきから膿が出たり、痛み、歯がグラグラしたり、最後には歯が抜けます。また近年、歯周病は、糖尿病など全身の様々な病気に影響を及ぼすことがわかってきました。

それでは歯周病は、どのように治療されるのでしょうか。

まず、「歯周組織検査」を行い、お口の中の状態の情報を集めます。歯と歯ぐきの境目の溝(=歯周ポケット)の深さを測ることで、歯周組織の破壊程度を調べます。レントゲン写真では、歯周組織の骨の状態を調べます。その他、プラークの付着状態検査、かみ合わせの検査、歯型をとる検査などを行います。また全身の状態(喫煙、日常の習慣、病気など)の話を聞きます。これらの情報に基づき、個人個人にあわせた治療計画を立て、治療が行われます。

次に、歯周病の原因を取り除く「歯周基本治療」に入ります。歯周病の最大の原因は、プラークです。プラークを確実に取り除く「プラークコントロール」が大切です。プラークコントロールの基本は、毎日の歯みがきです。私たち歯科医師・歯科衛生士は、患者さんが正しい歯みがきを身につけられるように指導いたします。歯みがきが上手になったところで、歯周ポケット内の歯石を取り除き(=「スケーリング、スケーリング・ルートプレーニング」)、並行してかみ合わせの調整や合わない被せ物の除去などを行います。

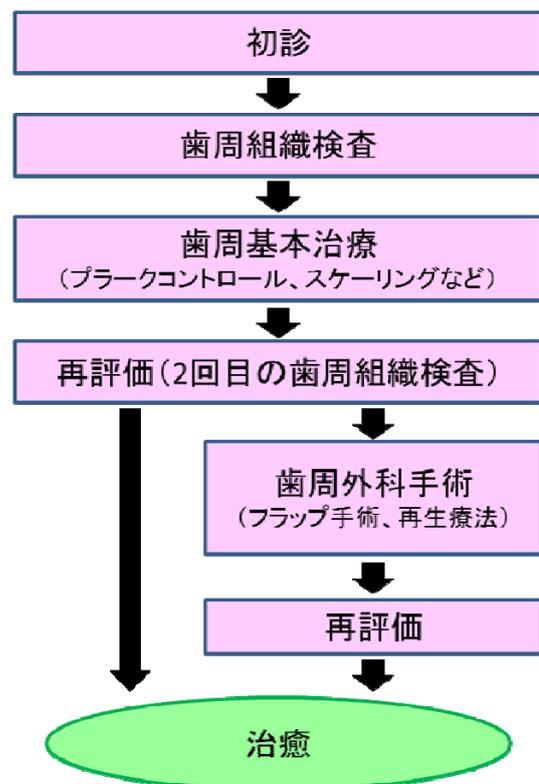
歯周基本治療の後に、再度の歯周組織検査(=「再評価」)を行い、どのくらい治ったかどうかを評価します。歯周基本治療で治りきらず歯周ポケットが残ってしまった場合には、「歯周外科手術」を行うことがあります。歯周外科手術については次号でお話します。

これらの治療により歯周組織の炎症が落ち着いたところで、最後に被せ物や義歯などを入れ、ようやく歯周病治療は終了します。

歯周病は再発しやすい病気です。治療のあともお口の健康を保つよう、毎日の歯みがきと規則正しい生活習慣が大切です。お口の健康をいつまでも保つには、患者さんと私たち歯科医師・歯科衛生士との二人三脚で治療することが欠かせません。

歯周病の治療は、症状の進み具合により変わります。「歯みがきすると歯ぐきから血がでる。」「歯ぐきが腫れる。」など思いあたるサインはありませんか。歯周病のサインを感じたら、どうぞ私たち歯周病科にご相談ください。

歯周治療の流れ



自衛消防訓練審査会で3位 昭和大学女子自衛消防隊銅メダル獲得

9月7日(金)せせらぎ公園(大田区)で開催された自衛消防訓練審査会に歯科病院女子自衛消防隊が出場し、好成績を収めました。

この審査会は田園調布消防署が管内の事業所における災害時の自衛消防活動能力の向上を目的として毎年開催しているもので、この田園調布地区では全13事業所21隊が参加し、火災発生時の初動対応、119番通報、消火器・屋内消火栓による消火活動等、一連の自衛消防活動の技術を競い合いました。

メンバーは、指揮者 山口真奈(歯科医師・小児歯科)、1番員 佐藤友美(看護師)、2番員 青木雅枝(歯科医師・高齢者歯科)の3人。田園調布消防署、および雪が谷出張所の消防士の方々の指導を受け、審査会に向けて本格的な練習に励んできました。

診療の合間で限られた練習時間の中での3位を
入賞できたことは相当な快挙です。出場した3人の
隊員のみなさん、本当にお疲れさまでした。



自衛消防訓練審査会の様子



昭和大学公開講座開催のお知らせ

毎年開催されております、昭和大学歯科病院の公開講座の日程が決定致しました。

平成30年10月13日(土)13:00~15:00、大田区の後援を得ての開催となります。今年度は小児歯科、矯正歯科、歯科衛生室の三本立てです。参加費無料で、事前申込不要です。どなたでもご参加いただけます。

参加者には歯科用品プレゼントをご用意していますので、ぜひご参加ください。

※受講後、氏名入りの受講証明書をご希望の方のみ事前申し込みを頂いています。詳細は歯科病院ホームページをご覧ください。

<http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/>

編集後記

台風21号による豪雨、北海道の地震と不穏な空気が流れる日本列島ですが、皆で踏ん張って良い方向に進めるように頑張りましょう！猛暑は一段落しましたが、今年は秋が短いように感じます。皆様の健康を祈念します。

(T.S)



主催：昭和大学・昭和大学歯科病院 後援：大田区

第21回
昭和大学公開講座
暮らしと健康 ～お口の健康～

2018年10月13日(土)
13:00~15:00
場所：昭和大学歯科病院6階臨床講堂

1 小児歯科 歯のイラスト 御存知ですか？ 乳歯・永久歯が生えないこともあります 講師 小児歯科・教授 島田 幸恵	2 矯正歯科 歯のイラスト 歯並びと歯の健康 - 矯正歯科治療中のう蝕予防管理も含めて - 講師 矯正歯科・助教 芳賀 秀郷	3 歯科衛生 歯のイラスト お口の健康と全身の健康の関わり 講師 歯科衛生士 兼田 麻矢
--	---	--

参加費無料！申込不要。受講者にはもちろん歯科用品をプレゼント！

昭和大学歯科病院 大田区北千代2-1-1
<http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>
90th Showa University 創立90周年

* 氏名入りの受講証を発行し郵送の方のみ事前申込が必要です。
印刷1冊 購入付申し込みメールで お申し込みください。